

[企画セッション]

COVID-19が蔓延してみたら CIO より上手にDXが進化した件

尾崎 拓郎¹ 嶋田 創² 柏崎 礼生³ 岡部 寿男⁴ 北口 善明⁵

概要: 2020 年度が始まったばかりではあるが、この年度の大きなニュースは世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス (COVID-19) の感染であろう。日本での感染が広まり始めた 2 月以後、予定されていた学会の全国大会やシンポジウム、研究会 (以後、これらを単にイベントとよぶ) は感染防止の観点から、オンサイトでの開催を取りやめた。情報処理学会では、その中でも第 82 回全国大会を筆頭に、いくつかのイベントが全てオンラインで実施された。今後もしばらくは COVID-19 の感染防止のために、本来はオンサイトで行われるはずであるイベントがオンライン開催されると思われる。今回のセッションでは、すでにオンラインで行われた 4 つのイベントの開催の実務等を担当した方々をパネリストにお迎えし、オンラインで開催するために考慮すべき点、課題などを議論する。

キーワード: オンライン会議, 運用技術, 情報処理学会, 全国大会, シンポジウム, 研究会

Would you like to hear about how COVID-19 evolved DX better than CIOs do?

Abstract: Although the fiscal year 2020 has just started, the big news in this year is the infection of the novel coronavirus (COVID-19), which is raging around the world. After this February, when the infection began to spread in Japan, the scheduled national conferences, symposiums, and research meetings of academic societies (hereinafter referred to as “events”) were cancelled from the viewpoint of infection prevention. In the Information Processing Society of Japan (IPJS), several events, including the 82nd National Convention of IPJS, were held entirely online. In order to prevent the infection of COVID-19, it is expected that some events that should be held onsite in a normal situation will be held online. In this session, we will invite panelists who have been in charge of organizing four events that have already been held online to discuss points to consider and issues for organizing online events.

Keywords: Online conference, operation technology, IPJS, National Convention, Symposium, research meetings

2020 年 2 月以降、新型コロナウイルス (COVID-19) の感染拡大に伴い、国内外を問わず様々なイベントが中止・延期された中、オンライン開催へと舵取りをしたイベントがある。Erik Stolterman が 2004 年に提唱した「デジタル・トランスフォーメーション」(Digital Transformation: DX) は今日「デジタル技術が人間の生活のあらゆる面で引き起こす、あるいは影響を与える変化」として理解され

ている。今回の災厄により、学術の様々な側面において人々が物理的に一箇所に集まらなくても良いことと、そうでないことが明らかになったのかもしれない。このパネル討論では、情報コミュニケーション学会第 17 回全国大会 (2/29-3/1, 尾崎), 情報処理学会インターネットと運用技術研究会 (IOT48, 3/2-3, 嶋田), 第 12 回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2020, 3/2-4, 柏崎), 情報処理学会第 82 回全国大会 (3/5-7, 岡部) のオンライン化に携わったキーマンに登壇して頂き、その意思決定と運用、得られた知見について共有を行い、パネリストの現場担当者の目線から未来を展望して頂くことにする。

¹ 大阪教育大学 (パネリスト)

² 名古屋大学 (パネリスト)

³ 国立情報学研究所 (パネリスト)

⁴ 京都大学 (パネリスト)

⁵ 東京工業大学 (モデレータ)